

あらぐさニュース

2024.4

Vol.93

発行／社会福祉法人あらぐさ福祉会 〒362-0051 上尾市地頭方 438-6 TEL048-726-5720 048-726-5862(支援センター直通)

4月4日(木) がんばるデー！



いよいよ 2024 年度がスタートしました。

4月4日には上尾駅東口にて「きょうされがんばるデー(国会請願へ向けた署名・募金活動)」を行い、あらぐさからは16名の仲間たちが参加しました。初めは控えめな仲間たちでしたが、徐々に前へ出て大きな声が出るようになりました。仲間たちの声に多くの方々が足を止めてくださり、たくさんのご協力を頂くことができました。

活動中、小学生の男の子がやって来て、2000円を募金する姿には驚きましたが、とても温かい行動に感謝の気持ちでいっぱいです。結果として、9000円の募金が集まりました。

がんばるデー以外にも、たくさんの方にご署名と募金のご協力を頂きまして、本当にありがとうございました。皆様から受け取ったこの大きな気持ちとともに、次は国会へ行ってきます！（樋川）

／ 新年度を迎えて ／



昨年5月に新型コロナが5類相当の扱いになり、最近はコロナ感染者も減少する中で桜の季節となりました。今年は開花の時期が遅く、久しぶりに桜の花に囲まれた入学式となりました。「あらぐさ福祉会」でも2年ぶりに新卒の新入職員を迎えました。なかなか職員採用が進まない中での採用者で、心から歓迎の気持ちでいっぱいです。社会への第一歩が「あらぐさ福祉会」になるので、社会人として仲間たちの支援者としてしっかり育ててもらえるように心がけていきたいと、緊張感をもって新年度を迎えています。新入職員の加治屋柊吾さんをよろしく申し上げます。

さて、昨年国が『介護職員の給与を一人当たり 6,000 円アップできるよう報酬の見直しをする』との方針を出しました。今年度は3年ごとの報酬改定の年で、3月に報酬改定案が出されましたが、国が言う6,000 円アップと今回の報酬改定案がどうリンクされるかの整合性が理解不能なものでした。

おおまかに言うと、報酬単価を下げ、どれだけ加算がとれるかで収入を増やすシステムを、更に進ませるものでした。請求事務の煩雑さも加速しています。この分野の支出を削減する意図がありありと汲み取れます。多くの事業所が頭を抱えた年度末・始になりました。

「あらぐさ福祉会」は何とかやりくりして職員の給与をベースアップする予算を作ることができ、新年度をスタートさせましたが、果たして他の事業所はどうだったのか。思うような加算が取れず大幅な減収になる可能性もあり、どこまでこの6,000 円アップが行き渡ったのか。福祉業界でも格差が出てしまっていると思われまます。

とにかく今回の報酬改定はひどく、これでは職員不足を解消するための処遇改善にはつながりません。このままでは職員不足は改善されず、もしかすると事業の維持もままならない事態に陥るのではないかと危機感さえ覚えます。行き届いた仲間の支援には職員の確保は必須です。そのためには職員の処遇改善につながる報酬の抜本的な見直しが欠かせません。法人としても加盟している「きょうされん」などと共に国に働きかけていきたいと思えます。署名などで会員の皆様にもご協力お願いいたします。

ともあれ新年度は始まり、「あらぐさ福祉会」も動き始めています。今年度も7月6日(土)に「あらぐさ祭り」を開催いたします。楽しい企画を様々準備しているところです。皆様のお越しをお待ちしております。

また、第4クローバーハウスの年度末頃開所を目標に準備をすすめていきます。入居者7名も決まり仲間・家族はホームのオープンを心待ちにしています。その支援のために後援会主催の「あらぐさコンサート」を来年3月1日(土)に開催する予定です。久しぶりのコンサート開催です。どうぞお楽しみに！今年度も後援会の皆様の「あらぐさ福祉会」へのご支援どうぞよろしくお願い申し上げます。 (理事長 岩淵)

🌸 お花見をしました 🌸

菓子班



リサイクルA班



リサイクル班



こぱん☆あらぐさ

お花見の日になんと雨☹️
みんなでかるた大会をしました！

2024年度 あらぐさの取り組み

2024年度が始まりました。労働と教育の場「雑草」は、34名（生活介護22名 就労継続支援B型12名）が一緒に仕事へ取り組みます。7月のあらぐさまつりや10月の一泊旅行など、一年間みんなが明るく楽しく元気に過ごせるようにしていきたいと思います。

生活介護事業

主に、健康面や体力の維持・向上、生活面での技能の向上を目指していきます。具体的には、ウォーキングや創作活動、屋内での軽運動、季節のお楽しみ会に取り組みます。

就労継続支援B型事業

作業の技術をより高められるよう活動します。仕事に取り組む上でのマナーやルールを学習し、会社見学を行いながら働くことへの意欲も培っていきます。



【楽しいあらぐさでの時間が過ごせるといいな】

菓子作業班

9人の利用者がケーキ&クッキー作業に取り組みます。日々、おいしいお菓子づくりに励み、各特別支援学校や上尾市役所等への販売活動をしていきます。販売は、こぼん☆あらぐさと協力して取り組みます。お中元・お歳暮やクリスマス・バレンタイン等、季節商品にも力を入れていきます。

リサイクルA班

18人の利用者が所属している最大のグループです。缶プレス作業、内職作業、空き缶回収や古紙・ダンボール回収に取り組みます。利用者は、暑さや寒さ、雨や風にも負けず、たくましく働いています。利用者たちがいきいきと働くことができるように作業の工夫や安全な環境作りを行っていききたいと思います。

リサイクルB班

7人の利用者が缶やペットボトルの選別作業に取り組みます。みんな見通しをもってしっかりと作業に取り組んでいます。こだわりや障害により日常的に作業を継続することが難しい利用者に対しても安心して過ごすことができるようにゆとりをもった時間を設定して支援します。

(高橋好治)

2024年度 こぱん☆あらぐさの取り組み

こぱん☆あらぐさは8名で活動します。昨年度から引き続き変わらず元気いっぱい店舗営業や販売活動に取り組みます。お客様をもっともっと増やせるように新商品だけではなく、インスタなど広報活動にも力を入れていきます。「こんなパンが食べたい」「これを作ってほしい」などのお客様の声をお待ちしています。

営業日 月曜日から金曜日

営業時間 10:00~15:30

月に2回程度 「子ども食堂」

月に1回程度 「やぎさん一座の紙芝居」

月に1回程度 地域の野菜市開催

【 こぱんは、おいしいを追求します！ 】

こぱんをオープンして丸6年が経過しました。利用者たちのパンを作る腕前は上がる一方です。

今年度も力を合わせて生協二ツ宮店や富士見幼稚園への納品、上尾市役所などの販売に取り組んでいきます。昨年度は、数多くの新商品が店頭に並びました。その中でも種類豊富なピザパンが大人気商品になりました。ぜひ一度、お試しください。味に自信あり、買って後悔はさせません。

(高橋好治)



(ベテランの域に達しつつあるこぱんの店員です。)



@ARAGUSA.KOPAN

インスタグラムやってます！

フォローよろしくお願いします！！

後援会のページ

2月には桜が咲く様な暖かさがあったかと思うと、3月には雪が降ったりと温度差が激しく、身体がついていけず不調の方もいらっしやったと思います。なかまの家族も「通院している」「手術をした」などという話を聞くことが多くなりました。高齢期に入った家族も多くなり、今後の自分のこと・子どものことをかんがえなくてはならない時期が来たのだと思います。

丁度2月に下記の様な学習会があり、だんだん子どもの面倒が見られなくなる不安を、親と子を別の人格としてとらえ生きていくことが大切と聞かされました。

子を社会に委ね、親は老後の生活設計を考え新たな人生を進むと言われましたが、今の社会では安心して子を委ねることができません。

事業所の充実・子の暮らしの場などみんなの要求や願いを共有し、みんなで繋がって進んでいかなければと思いました。

さて今年度は第4グループホーム（男性用）の建設が始まります。後援会も資金支援を中心に活動していく所存です。どうか皆様からもご支援ご協力を賜りませう。トス。くお願ひ由し。トギマオ

後援会 会長 宣橋 弘羊

学習会 「障害者の暮らしと家族の権利保障」

田中智子氏（佛教大学）

ケアする家族に生じる社会的課題 〈2月14日 リモートで参加しました。〉

親は子どもに障害があると分かった時から、障害について学ぶ・どのようにケアしていくか考える・病院等での子どもの症状の説明をするなど、質量ともに子育てを超えたケアが存在し、負担が大きいのが現状です。また子どもの成長と共に体力・体格的に親を超えていき、ケアが大変になってきます。さらに親も高齢となりますが、それでも限界までケアしてしまいます。

ケアの第一次的責任は社会にあります。家族に子育て以上のことは求めない、過剰なケアを家族の中から取り除く、これが家族の権利保障です。親が高齢になればケアが出来なくなってしまう、なのでその前に子育ての責任の解除も考え、子と親を別の人格ととらえ、子どもを社会に委ね、親は一人の人間として人生の再構築を目指す。そのためには、親同士横のつながりを持ち、社会的不利な所はみんなで訴えていき、権利を確立させましょう。

まだいくつかテーマを分けてお話をして下さいましたが、参加者全員感銘を受け良い学びができたと思いました。

第25回あらかさ福祉会 後援会総会

日時：2024年5月18日（土）13時30分～

場所：あげお富士住建（旧上尾市文化センター）

204集会室

ご出席、よろしく願いいたします

あらかさコンサート 荒馬座

日時：2025年3月1日（土） 14時～

場所：上尾市文化センター 大ホール

内容：荒馬座

荒馬座は、1966年に東京板橋に創立され、東京・千葉・埼玉・神奈川を中心に公演活動をおこなっている民族歌舞団です。

日本の太鼓や踊り・うたといった人々の生活の中から生まれた民族芸能には、働く人々の生活の喜怒哀楽、豊かな自然や命をいとおしむ心、生きる知恵や共同の喜び、そして困難を乗り越える強さや明るさが豊かに込められています。

荒馬座はこうした民族芸能を再創造して、現代の働く人々の「明日を生きる力」となるよう、多くの働く皆さんの支持と共感を得て今日まで活動を続けています。

2023年度賛助会員（1月～3月）

酒井香菜子	成澤 治枝	八木 和子	山邊 迪佳	木原 洋子	河井 和子
平林 朱美	吉池 航輝	嶋田 洋子	佐藤 傑	橋本 公夫	小池 重雄
久保 典子	齋藤外志美	榎本恵美子	中里 清志	平田とよ子	
池田 泰男	奥隅 正	畦上 恭彦	村中 重子	吉池美智子	
宮内三佐子	菅原 慧子	伊澤 武登			

会費納入ありがとうございました（敬称略、順不同）

『第1クローバーハウス通信…春』

◆第1クローバーハウスとは・・・

上尾市領家の住宅街にある、知的障害者の共同生活の場です。2002年11月に開所し、2015年11月に建物が新しくなりました。現在7人の男性利用者が生活しています。365日開所です。



＜ 春のお出かけツアー 郷土の偉人を訪ねて ＞

桜の開花はまだまだだった3月中旬の日曜日。その日は絶好の天気だったので埼玉県深谷市にある「渋沢栄一記念館」に行ってきました。渋沢栄一といえば「埼玉三偉人」の1人。7月からの新1万円札の話題人物・・・ということで外出先としてはとてもタイムリーでした。

現地に到着すると駐車場には予想以上に多くの車と中型の観光バスも止まっていて、なかなかのにぎわいを見せていました。記念館では渋沢栄一の写真や資料を見てまわり、目玉はアンドロイド渋沢栄一による講義でした。すぐ近くには生家「中の家」があり、そこもじっくりと見学してきました。みんなは見るだけでなく、さまざまなパンフレット集めにも夢中になっていました。郷土の偉人を訪ねる今回のツアーはなかなか勉強になりました。7月に新1万円札を手にするのがとても楽しみになりました。

(高橋好治)

～編集後記～

新年度が始まりましたが、あらぐさの仲間は穏やかに過ごしています。今年も各班でお花見に行ってきました。しかし、今年はいつもの時期に桜がなかなか咲かず、職員と仲間で「まだかな～」「いつ咲くかなあ」とずっとソワソワしていました。いざ咲いたと思ったら強風と雨☹️私たちの班はその後にお花見予定で「咲いてるかな…」と心配でしたが、バッチリ咲いていました。桜って意外と強いことを知った今年の春でした。

(樋口)